

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社中央倉庫（証券コード:9319）

【据置】

長期発行体格付
格付の見通し

BBB+
安定的

■格付事由

- 京都を中心に近畿、関東、東海、北陸、中国エリアで事業を展開する倉庫会社。繊維保管に強みを持つが、近年は化学工業品などの取り扱い増加に伴い、品目分散が進んでいる。内陸型倉庫を中心とする倉庫業と運送業が収益の柱。22年3月の梅小路宿泊施設の賃貸開始に伴い、23/3期から不動産賃貸事業が報告セグメント区分として新設されている。豊田通商などと共同で設立した豊通ペトリサイクルシステムズでは廃PETボトルの再資源化事業を手掛けており、当社は同事業の物流関連の業務全般を担っている。
- 収益基盤の強化が進んでいる。既存荷主との取引深耕に加え、適正料金の収受や採算性を重視した貨物ポートフォリオの見直しなどの取り組みに成果が出ている。また、循環型ビジネスなど新たな成長産業への取り組みも順調である。不動産賃貸事業では安定した利益貢献が見込まれ、業績を下支えする役割が見込まれる。今後も業績は堅調に推移するとJCRではみている。財務構成は極めて良好である。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期の営業利益計画は22億円（前期比17.8%増）と、4期連続で増益となる見通し。入出庫や保管残高が堅調に推移しているほか、梅小路宿泊施設の通期寄与もプラスに作用する。電気料金や燃料費などコストアップ要因はあるものの、引き続き荷主との料金適正化交渉を継続する方針であり、利益への下押し圧力は一定程度緩和されるとみられる。24/3期以降、大津市の新倉庫の稼働や循環型ビジネスの拡大などにより、収益力の底上げが更に進むか注目していく。
- 23/3期第2四半期末の自己資本比率は78.0%（前期末76.9%）と、強固な財務基盤に変化はない。ネットキャッシュ状態が長期にわたって維持されており、資金面の余裕度も高い。設備投資は梅小路宿泊施設に続き大津市での倉庫新設が計画されているなど、当面、比較的高い投資水準が続く見通し。ただ、手元流動性の状況や安定したキャッシュフロー創出力を踏まえれば、財務の健全性は維持されるとJCRではみている。

（担当）大塚 浩芳・村松 直樹

■格付対象

発行体：株式会社中央倉庫

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年1月13日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「倉庫」(2020年5月29日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社中央倉庫
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいで行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル